

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

【基本的な事項】

・ 期待レベルが「基本」の項目(黄色マーク項目)は、必須記載項目です。

様式第3号

カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
人権・労働	1【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・人権基本方針において、基本的人権の尊重、差別を行わないことを定めている。 ・年に1回、全社員を対象として人権研修を実施、社員の人権尊重に対する意識向上を図っている。					○			○		○						○	
	2【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・就業規則において「ハラスメント行為の防止」を定めている。 ・ハラスメント相談窓口を設置し、社員が相談できる環境を整備。 ・ハラスメントガイドブックを作成し、社員に配布することで、ハラスメントに対する社員の理解向上に努めている。					○			○								○	
	3【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・PCのログイン、ログオフの時間管理を実施し、長時間労働が発生しないよう管理者および労働者本人が労働時間を確認できる体制を構築している。 ・PC操作時間の月間超過時間が一定の基準を超えている社員への産業医面接または問診調査を実施し、長時間勤務による健康障害の発生防止に取り組んでいる。								○									
	4【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	・全社員を対象とした人権研修において、外国人労働者をテーマとした題材を扱い、人権についての理解の向上を図っている。				○				○		○							
	5【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・労働安全衛生法に基づき、事業所に衛生委員会を設置し、月一回健康障害の防止や健康の保持増進に関する事項を調査・審議を実施している。 ・労働災害発生防止の観点から、産業医による職場巡回を実施し、職場環境整備を行っている。			○					○									
	6【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・一次予防として、自主学習でのメンタルヘルスに関する学習の実施、階層別研修、労組・衛生委員会共催のメンタルヘルスセミナー、ストレスチェック等を実施し、セルフケア・ラインケアを実施。 ・健康管理センターと社員相談室に相談窓口を設け、メンタルヘルス相談やメンタル不調による休務者の復職支援を実施。			○														
	7【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・D&I推進部署を設置し、多様な社員全員が活躍する会社の実現に向けて環境整備を行っている。 ・女性の活躍推進に積極的に取り組む為、女性社員に向けた研修・制度の充実させている。 ・パラアスリート支援として、当社業務を行いながら、協議に取組める環境整備を行っている。					○			○		○							
	8【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	・やまなし健康経営優良企業認定制度で認定を受けている。 ・アプリを活用し社員一人ひとりが楽しみながら健康への関心を高め、健康増進や生活習慣改善に繋げられるよう、健康増進取組を実施している。			○					○									
	9【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・階層別研修や任意参加型の研修を開催し、社員の能力開発の場を設けている。 ・資格取得にあたり費用補助を実施し、社員のスキルアップを支援している。				○				○	○								
	10【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	・パート社員に長期勤務休暇及び出張休暇を新設し、法改正の趣旨により即したのものになるように見直しを行っている。 ・パート社員およびシニア社員の欠勤期間を延長する変更を行うなど、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保に努めている。								○		○							

カテゴリー	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物処理に関するマニュアルを策定し、業者選定にあたっては各自治体の認可を受けた業者を選定し、定められた分別ルールにのっとり処理を行っている。											○	○		○			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・自社のエネルギー使用量を毎年把握している。 ・2022年度目標として電力前年度比2%削減に向け取組を実施している。							○						○				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・自社の温室効果ガスの排出量を毎年把握している。 ・2019年度比で2030年削減目標▲50%に向け取組を実施している。							○					○	○				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減および適切な使用に努めている。			○			○					○	○					
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・本社ビルでは合計敷地面積の40%以上を緑化しており、生物多様性に配慮し、「自然資本の持続可能性向上」に取組んでいる。						○									○		
16	【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・法定に基づいた管理を行い、効率改善に努めている。本社ビルでは手洗い水や雨水をトイレの洗浄水や緑地への散水用として再利用している。						○											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	・環境ISO14001を取得している。			○			○	○					○	○	○	○		
18	【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・自社HPで環境への取組に関する情報公開を行っている。												○					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・再生可能エネルギーの導入を推進し2021年10月末で導入率20%を達成している。							○						○				
20	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・環境基本方針において、主要課題として持続可能な資源の利用を掲げ、森林認証紙の利用促進等、各種取り組みを行っている。 ・社員食堂にてサステナブル・シーフード(持続可能な水産物)メニューを提供している。													○	○	○	○	
21	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・事故車両の修理にあたり、リサイクル部品の活用を積極的にご案内し、環境保全とコスト削減に努めている。						○						○	○	○	○	○	
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・コンプライアンス基本方針の中で、適正な事業活動を支える行動を明記している。 ・コンプライアンスマニュアルを整備し、研修や自己学習を通じて周知徹底を図っている。																○	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・行動憲章の中で、公平・公正な事業運営をが不可欠であることを認識し、あらゆる局面において、倫理的に正しい行為を優先することを明記している。 ・コンプライアンスマニュアルを整備し、研修や自己学習を通じて周知徹底を図っている。																	○
24	【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・商標等の知的財産権の取得・管理を行っている。 ・商品開発時には、特許侵害調査を実施している。								○	○								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・個人情報の取り扱いに関するマニュアルを整備し、社員の自己学習を通じて周知徹底を図っている。																○	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	【非該当】 ・規制対象となる紛争鉱物の業務利用はない。																○	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害(低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等)の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)のための取組を要請している	応用	社会	・サービス調達等に関わるサプライヤーや代理店のビジネスパートナー等の関係者に対して、事業活動において人権への負の影響が発生することを防止、軽減するように働きかけを行っている。					○			○		○		○	○	○	○	○	○

カテ ゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項(例)】	期待 レベル	・環境 ・社会 ・経済 の種別	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																						
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・お客さまへの商品販売を主に担う保険代理店に対して、品質認定制度を制定し、適切な情報提供と損害サポートを実施できる体制整備に取り組んでいる。				○									○					
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・お客さまからの声の対応をルール化するなど、商品・サービスの品質向上につながる仕組みを構築している。 ・お客さまアンケートを実施し、お客さまの満足度向上に向けた取り組みを実施している。									○									
	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・再生可能エネルギーの普及促進に向け、太陽光パネル等を補償する保険商品の開発・販売を行っている。						○							○	○	○	○		
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・社会・地域の課題解決につながる商品として、サイバーリスクの補償やドラレコ付き自動車保険の販売、自然災害への備え提案活動を行っている。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地域企業の課題解決に向けて、セミナーや研修や個別コンサルティングを実施し、課題解決に貢献している。 ・損保データ・AIを活用した新たな防災・減災支援サービスの提供により気候変動への対応した活動を行っている。				○					○		○	○		○	○			○
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・年1回の社会貢献活動を実践し、地位への貢献を実施している。 ・大規模災害発生時には社員から募金を募り、災害被災地への義援金の寄付を実施している。				○							○				○	○		○
	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用(地産地消、地産外商)を行っている	応用	環境、社会、経済	・山梨県の名産品を取り上げ、社内におけるWEB販売にて物産展を開催し、地域資源のアピールと売上拡大を行っている。									○	○		○	○	○				
組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・コンプライアンスに関するマニュアルを整備し、社員の自己学習及び研修を通じて、法令順守の考え方の浸透を図っている。																	○	
	【内部管理体制】 ・経営理念(及びSDGsとの関係)・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・社内イントラネット及び社内放送にて、自社の経営理念や目標について共有を図っており、同時にSDGsの取組についても浸透を図っている。									○	○								○
	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・コンプライアンス基本方針及び「法令等順守規定」に基づき、法令順守が確実に行われるよう組織・体制を整備している。 ・コンプライアンス部及び内部監査部を設置し、定期的に社内各部署に対して法令が順守されているか監査を実施している。																	○	
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・経営企画部内に地球環境・社会貢献に対応するサステナビリティ推進チームが設置され、対応している。																	○	
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・リスク管理基本方針においてリスク管理態勢整備、リスク管理プロセス等を定め、リスク管理を経営の最重要課題として取り組んでいる。 ・衛生委員会の設置、ストレスチェックの実施、長時間労働者の管理を行っており、労働環境に関するリスクの特定および評価を行い、マネジメントする体制が構築されている。																		○
	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR(Corporate Social Responsibility)の取組を進めている	応用	環境、社会	・環境に関する取組として、森林の再生と持続可能な地域社会の形成に向けて、2005年よりインドネシアにおいて熱帯雨林の再生プロジェクトを行っている。 ・お客さまが保険証券や約款をペーパーレス化した場合、選択件数に応じた金額を脱炭素化や生物多様性安全を目的とした活動に寄付している。																		○
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・お客さま、株主、代理店、取引先、社員、地域社会・国際社会のステークホルダーの声を聞きし、相談、要望、苦情、意見を広く受け止め、品質向上に活かしている。 ・お客さまデスクの設置やアンケート等を実施し、自社活動のステークホルダーへの影響把握に努め、対応を行っている。																	○	○
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	・大規模災害に備え、BCPの策定を行い、本社所在地で大規模災害が発生し、本社が機能停止に陥った場合においても事業が継続できる体制を整備している。										○		○		○			○	

